

## 令和3年度 湘南養護学校 コミュニティ・スクール 報告 その1



今年度のコミュニティ・スクール(第1回 学校運営協議会)を6月1日(火)、本校図書室で開催しました。今回は、今年度の学校運営、学校目標(目標設定)をメインに本校(事務局)より提示と説明をさせていただきました。また、昨年度より感染症対策として、蔓延防止期間中は、外部の方々の教室棟へのご案内ができないため、各学部の取組の紹介をスライドショーで行いました。今年度の学校運営、目標についてご承認をいただきました。

12月末から1月上旬には、例年どおり学校評価アンケートにご協力をお願いする予定です。添付資料として「令和3年度 学校評価(目標設定)」についても確認いただき、日々の教育活動および学校運営に関するご意見等をいただけますと幸いです。

コミュニティ・スクールとは・・・ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と保護者や地域の方々が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる仕組みで、湘南養護学校でも、令和2年度より設置しています。また、学校運営協議会を設置した学校のこと、コミュニティ・スクールと呼びます。

### 第1回 学校運営協議会(学校評価部会)

昨年度より、県立学校で『コミュニティ・スクール』の設置が開始されました。新型コロナウイルス感染拡大から、昨年度の対面形式での学校運営委員会の開催は、1回のみで、書面、リモートでの開催が各1回の計3回の開催でした。

今年度、第1回目開催も、新型コロナウイルス感染症によるまん防止等重点措置の延長の中ではありましたが、感染症対策のもとで運営委員の皆様、事務局である湘南養護学校の教職員代表とが一同に参集し、開催することができました。

開催日時： 6月1日(火) 9時45分～11時

1 運営委員(敬称略)紹介 > \*印の方は、今年度より新規、無印の方々は、昨年度より引続きの委員の方です。

1	出縄 守英	会長	社会福祉法人 進和学園理事長	5	*府川 康雄	委員	新川端自治会 会長
2	遠藤 滋	副会長	古河ニューリーフ 取締役社長	6	合田 芳憲	委員	平塚市立中原中学校 校長
3	仁和 佳世子	委員	平塚市こども家庭課 こども発達支援担当長	7	*小河 弘美	委員	本校 PTA 代表
4	吉野 和美	委員	中原公民館 館長	8	澤田 裕	委員	本校 校長

各委員の皆様からの自己紹介及び事務局(本校)より出席の教職員の自己紹介を行いました。

2 学校運営協議会の運営等(確認)について

- ① 県教育委員会発出資料「神奈川県立学校 コミュニティ・スクール」・「神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱」
- ② 湘南養護学校「学校運営協議会運営計画書」→ 切れ目ない支援部会 学校独自部会等  
上記資料を配布し、確認しました。

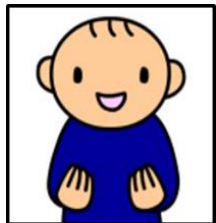
3 教育活動紹介

コロナ禍、各学部の教育活動を直接ご覧いただくことが難しいため、各学部長よりそれぞれの学部の教育活動の紹介、教育企画部長より今年度の感染予防の取組みについてパワーポイントで紹介。

**主要内容** 感染症予防に努めながらも、今できる教育活動を工夫して行っています

<小学部> 朝の会: 予定の確認や呼名の様子 → 児童の実態に合わせ、サインやシンボル、写真などを用いる  
わくわく広場(週1回): シアター、リズムック、ゲーム の活動の様子を紹介  
課題別学習: 課題箱や順番表の活用、学習の様子

<中学部> 朝のトレーニング(毎日): 体育館、グラウンドでの活動の様子を紹介  
ふれあいタイム(週1回): 学年を越え4グループに分かれ、ゲーム等を通して集団活動のルールや人との関わり方を学ぶ  
作業学習(週1日): 学年を越え4つの班編成で働くための基礎「あいさつ」「報告」「相談」を身につける



<高等部> 新入生歓迎会(学部集会):4月 密を避けるためグラウンドで実施した様子を紹介  
職業・グループ学習: 地域の清掃活動や地域貢献活動の様子を紹介  
政治参加教育: 給食選挙の様子、実際の選挙で使用の投票記入台や投票箱での模擬投票の様子を紹介

<感染予防の取組> 登校時: 検温と手指消毒の様子  
給食時: 横並びで黙食。配食は教員が実施。

#### 4 令和2年度 学校評価報告書

- ご意見・ご質問等**
- ・「生徒との適切な距離」とは? ← 年齢相応の関わり方。いつまでも子ども扱い×。言葉づかいにも配慮。  
→ 会社も同じ。日々の課題となっている。
  - ← 職員から児童生徒へ「さんづけ呼称」。自立への学びが大切。  
→ 施設でも同様に尊厳を持った対応をする。
  - ・昨年度末の動画配信などから、湘南養護の取組を知ることができ有意義だった。知ってもらうこと、提案は大事。  
行政として協力できたらいい。「切れ目ない支援部会」の機会を得たことは、前進と言える。
  - ・公民館の立場から非常に勉強になっている。昨年度1年間で養護学校と関わり感じたことは、有事のことを考えて  
ヨコのつながりを設定すべき。  
自治体で問題となっていることが住民に興味のあることかということそうではないように、学校では、児童生徒が何を望んでいるかを考えなければならないのではないか。  
← 具体的な取組が求められていると感じる。発信の方法として違う形の媒体も必要。小さなことの積み重ねを大切にしていきたい。
  - ・養護学校での活動の様子を自治体に発信していく。コミュニケーションをとっていくことが大切。
  - ・昨年度の平塚駅ビルでの作品展示は、土・日の開催で見に行くことができなかった。日数を増やしてほしい。  
防災の取組で「不信者対策」はどうなっているのか気になる。  
← 不審者対策訓練を毎年実施。“さすまた”を使った訓練、警察署の方を講師に迎えるなどしている。  
来校者へのあいさつも不振者を防ぐひとつとなっている。

## 5 令和3年度学校運営について

- ① 学校教育計画(令和2年度～令和5年度)
- ② 湘南養護学校ランドデザイン
- ③ 令和3年度 学校運営組織
- ④ 令和3年度 学校評価(目標設定)

①～④の資料をもとに今年度の学校運営について説明。

今年度の学校目標(目標設定)について委員の皆様より承認をいただきました。

### ご意見・ご質問等

・資料によると「学校ごとに独自の部会を設置することができる」とあるが・・・

- ← 部会は、学校の実情に合わせて設置するもの。その年度で取組んでいくものがあれば、起こしていく。
- 具体的に何をすればいいのかということになると、全員で話すより部会で形を作っていきうほうが良いという印象。方向性を全体で議論して部会へもっていく。そして、やっていることを見せていかないと水面下になってしまう。
- 今年度は、構想を練る時ではないか。
- コロナが収まってからになると思うが、仕組みを活用して、活動内容を見せるようにしていきたい。
- ← ぜひ、やっていきたいが、まずは、失われがちになっている「雑談」ができる雰囲気大切にしたい。

・“湘南ブランド”を掲げ、コミュニケーションツールの活用をしているが、学校でしかやっていない印象がある。

卒業したらどうなるのだろうと思う。事業所での活用はあるのか？

- (湘南養護から)動画をもらって研修している。
- 他の学校とも連携するとよいのではないか。
- ← 動画は、平塚、大磯、二宮の小・中学校へも配信している。放課後デイサービス、福祉事業所、関係機関にも届けている。コミュニケーションツールや振る舞いなど、地域への巡回を通して広めていきたい。

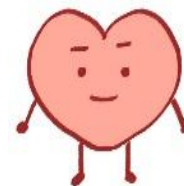
## 6 その他

- ① 令和3年度 湘南養護学校当初予算(県費)

資料をもとに説明。 \*令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として補正予算8,310千円を執行

- ② 切れ目ない支援部会 6月23日(水) 開催予定
- 第2回学校運営協議会 8月24日(火) 午前開催予定

※学校運営協議会は、保護者や地域の皆様の傍聴ができます。  
希望される方は、ご連絡をお願いいたします。



問合わせ先  
副校長 大谷  
電話 0463-31-7244